

「明日の準備」 ～花壇のチューリップ～

○6月4日



運動会一色の校内。

子どもたちが運動会の全体練習をしている横で、公務補の平野さんと坂本さんが何やら作業をしていました。

強い日差しの中、作業は長い間行われています。

中庭の花壇。

チューリップの後始末をしているようです。

前日まではきれいに咲いていたチューリップ。
全ての花を茎から折ってしまいます。

毎回、「少しもったいないな」と思うのですが、必要なことなのです。

球根の花は、水やり等の手間もなく、比較的育てやすい植物だと言われています。

しかし、きれいに咲いた、その花を放っておくと、カビがはえてしまったり、花の後に種ができてしまったり、地下の球根に栄養が蓄えられなくなってしまいます。

「もったいない」と思われる作業は、来年もきれいな花を咲かせるためなのです。

お二人の炎天下での作業に感謝しながら…

来年からの新学習指導要領実施に向け、球根の花のように「明日の準備」を始めていかなければならないと、考えています。